

Mira Study Logo

ミラストディ ロゴデザイン提案書

Concept

MiraStudyのロゴは、
「目的に向かって学ぶ（場）」という考え方を軸に設計しています。
学ぶこと自体を主役にするのではなく、
目的があり、その目的に向かって学びが進んでいく状態を
シンボルとタイポグラフィの両面から表現しています。

Keywords

- # 目的・目標
- # 学び・学習
- # 見通し(Mira=見渡す)

No.1 開かれた本パターン

MiraStudyの軸である「目的に向かって学ぶ（場）」を、星と本の関係性で表現しています。

星は、目的・目標、そしてMira=未来を象徴しています。
開かれた本は、学びや学習のプロセスを表しており、学びが進行している最中の状態であることを示しています。

本を開くことで星が現れる構造は、目的のために学びを始めること、また学びの中から未来が立ち上がってくる様子を示しています。

このパターンは目的を見据えながら学びが進んでいく状態を示した、MiraStudyを一番シンプルに表したロゴマークです。

#目的・目標

#本

#学び・学習



No.2 星のパターン

目的や目標が一つに限られず、複数存在している状態を表現しています。
星＝目的・目標のどれかが実を結び、輝く可能性を秘めていることを一つだけ色が違う様子で示しています。

星が壁のように連なる構造は、学びの過程において越えていくべきチャレンジや障壁の存在を表しています。
それらを一つひとつ超えていくことで、次の目的へと近づいていく様子表現しています。

このパターンは学びの表現よりも、挑戦すること・乗り越えていくことに焦点を当てたロゴマークです。

#目的・目標

#可能性

#チャレンジ



No.3 目標までの見通しパターン

Miraが持つ「見渡す」「見通す」という意味合いを中心に表現しています。

左下の丸は自分の現在地を表し、そこから目的である星に向かって形が大きく伸びていく構造になっています。

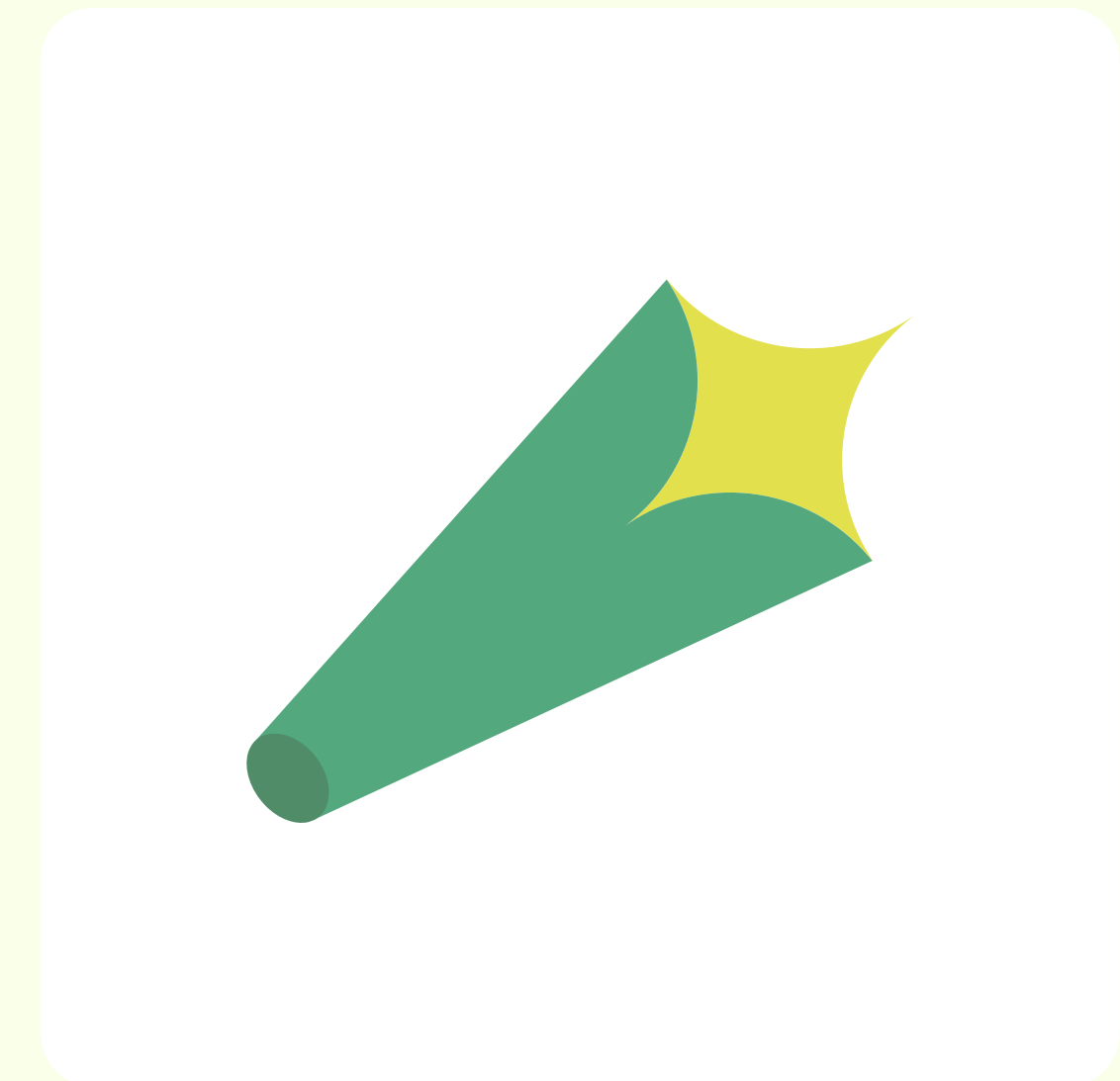
これは、今どこに立っているのかを認識しながら、目的に向かって学びが進んでいく様子を示しています。

このパターンは方向性や見通しを強く打ち出しており、目標に向かって進んでいくような勢いのあるロゴマークです。

#目的・目標

#Mira=見渡し、見通す

#自分の現在地



Logo Mark

Other その他の案



No.1 幾何学模様パターン

丸・三角・四角といった図形を、
積み木のように一つひとつ積み上げるイメージで構成しています。
学びが小さな積み重ねによって形づくられていく様子を、
図形の組み合わせで表現しています。
直線と曲線を併せ持つことで、男女問わず親しみやすい、
温かみのある印象に仕上がっています。



ロゴマークと合わせたイメージ



No.2 癖ありフォントパターン

Neulis Neueを使用し、
小文字の端が丸く跳ね上がる造形を活かしたフォントで構成しています。

一般的なゴシック体とは異なる、わずかな“癖”があることで、
人間らしさや柔らかさが感じられます。

整った印象を保ちながらも、
安心感のあるシンプルな雰囲気仕上げています。

Mira Study

Mira
Study

ロゴマークと合わせたイメージ

Mira Study ✨

Mira Study 🖋️

Mira
Study ✨

Mira 🖋️
Study



No.3 細めフォントパターン

Avenirを使用し、細めのゴシック体をベースに
文字の配置やバランスを調整して構成しています。

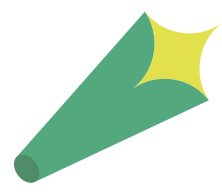
スタンダードで読みやすいフォントを用いながら、
自由な発想や広がりを感じさせるデザインにしています。

全体として右上がりに伸びていく印象を持たせ、
前向きさや成長をイメージさせるロゴタイプに
仕上げています。

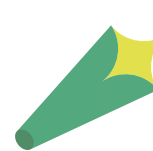
Mira Study

Mira
Study

ロゴマークと合わせたイメージ

Mira Study 

Mira Study 

Mira
Study 

Mira
Study 



Color

近未来感のある明るめのグリーンを基調に、
春や桜を思わせるピンクをアクセントとして使用しています。

未来に向かって春が訪れるような、
明るさや希望を感じさせる配色とすることで、
人間らしさと、前向きな未来のイメージを両立させています。

堅すぎず、冷たくなりすぎない色味を選ぶことで、
学びの場としての安心感と、
新しい一歩を踏み出す軽やかさを表現しています。

×ブルー系を使用しない

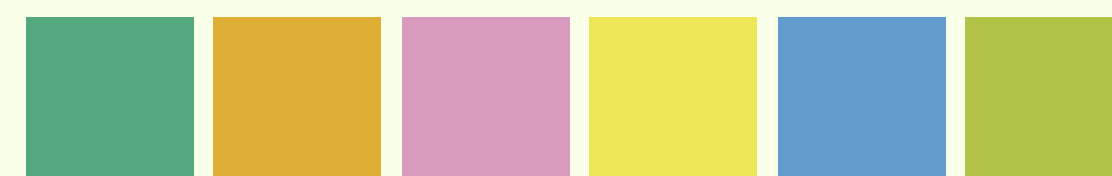
学習塾や教育サービスと印象が重なりやすく、
埋もれてしまうため。

×明るめの赤を使用しない

熱血的・押しつけがましい印象を与えやすいため。

×モノトーンを使用しない

無機質になりすぎ、MiraStudyが大切にする
人間らしさが伝わりにくいため。



ロゴの方針がある程度決定したら
次に色を決めていけたらと思っています。

Schedule

ロゴの方針決定後

- ・ 配色の調整
- ・ ロゴの細かな調整

↓

- ・ デザイン第2稿を提出
- ・ 全体の印象を確認

↓

- ・ 最終調整
- ・ ロゴガイドラインを作成・提出

↓

ロゴ納品して完了